



身の回りの出来事などを500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただきます。あて先は(〒950-1292 白根市大字白根1235 白根市企画財政課秘書広報係)です。

優しさをありがとう

遠藤みちる
(四十二歳・鷲巻桜町)

母が亡くなって十三年目の今年の夏、同居していた父が、七十三歳で他界しました。三人の孫たちがまだ幼かったころは、大変にぎやかだったわが家。そんな中でも、静かに俳句を読むことなどを趣味にしていた父でした。五年前事故に遭い、頭にけがをした後遺症で軽い痴ほうになってからの父は、まるで神様のような人でした。憎しみや怒りの心をどこかに置いてきたように、いつも穏やかで、優しいおじいちゃんになってくれました。老人保健施設にもお世話になり、本当に良くしてもらいました。とても家族だけでは介護することができなかつたと思います。残り少ない命と知らされて、家族み

んなで力を合わせ、精いっぱいのことをしてきました。父も、日に日に衰えていく体力を振り絞っていました。娘と桜並木を散歩したり、次男に支えられながら大好きだったお風呂に入ったりました。大学生の長男は、最後となった入院の際、千葉から駆け付け、付き添いもしました。夫や兄弟夫婦、親せき、知人、みんなの優しさに支えられ、父は旅立っていきました。痛風風 土間に寝かせて 酒酌めり父の残した一句です。日ごとに寂しさは募るばかりですが、これからは母と二人で私たちの幸せを見守っていてくれると信じています。

贈り物に励まされて

三 富 愛 子
(六十六歳・朝捲)

新しいごみ指定袋制が導入されたばかりのころは、ごみステーションに「違反」の袋が回収されずに残っていることなどがありました。その後、一人ひとりの自覚が育ったのでしょうか。私たちのごみステーションでは交代で掃除当番を行っていることもあり、いつもきれいな状態です。ある朝のことです。「お掃除当番ご苦労さまです」。大きな声で話し掛けると、掃除をしていたその人は振り返って「以前より汚れていないし、周囲もきれいになっていきますよ」と、明るく言いました。実はその日は、私が当番だったので

す。そのころ家ではいろいろなことがあり、ままならない状態で忘れていたのです。事情を察し、その人は何も言わないで代わって掃除をしてくれたのでした。この事に気付いた私は、厚意に感激しました。言うことは簡単ですが、実際に行動することは難しいものです。ごみならぬ護美ステーションから生まれた、思いやりのある贈り物。心から感謝すると共に、私も自己にむち打ち、微力ながら頑張っていこうと思えました。

雄大な自然美

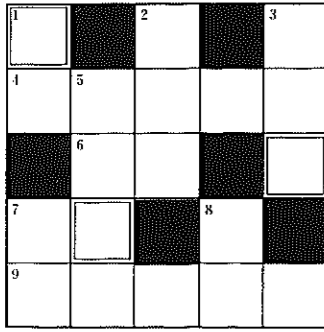
渡 辺 亨
(七十三歳・下大郷)

心の豊かさを求めて五十嵐川を遡る自然の神秘川の流れる石に砕けて早まる青空から降る光鳥さえずり風そよぐ控えめにこずえの葉きらめきゆらぐささやき分け入れば緑の林は深い静寂に包まれ生命生み出し育む恵みと潤い喜び安らぎ心を洗うダムから雄大な自然の眺望初夏を染める投影するその影観は一幅の絵なり

広報クイズ

図書券が当たる!

はがきに答え(完成図は不要です)住所、氏名、年齢、市や広報紙への意見を書いて、1月7日(金)必着で白根市企画財政課秘書広報係(〒950-1235 白根市大字白根1235)へお送りください。正解者の中から抽選で2人に500円の図書券、3人に粗品を差し上げます。正解者の発表は2月1日号で行います。11月15日号の正解はシチゴサン。正解者は34人でした。▼図書券 渡辺茜(親和町)、岩崎ミヨ(鯉沼2) ▼粗品 今井ナミ(蔵主)、門野久美子(古川団地)、坪井サイ(神屋)



◆ヨコのカギ

- ④卵料理の代表的なもの一つ
- ⑥住むところ
- ⑦足8本
- ⑨単一、単二、単三などで大きさが表されています

◆タテのカギ

- ①指先に付いています
- ②生まれたての赤ちゃんには、まだありません
- ③きりたんぽ、竿灯、男鹿半島といった何県
- ⑤足、役者、桜島
- ⑦初夢で二番目に縁起の良いもの
- ⑧漢字の左側の部分

□の中の字を並べてください。
冬はここが一番だニヤー

いい顔 ぱちぱち

10/21 青年教育センターで



11/1 大郷児童館で「大きな大きなおイモを掘った」



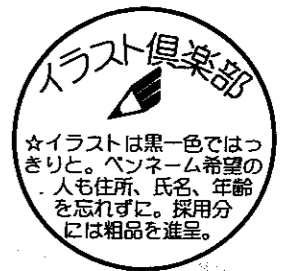
今月のはがきから

◎十月一日号の広報に載っていた「地球に優しいせつけん」に「作り方」は、大変参考になりました。ありがたうございました。品物を大切に最後まで使った。あければ、品物もうれしいと思えます。私は物のない時代に育ったせいから、「最後まで生かして使う」ということが、とても好きです。(M)

◎昔、広報の原稿を写植で打つ仕事をしていたことがあります。当時は隅から隅まで、目を通さない月はありません。

◎幼ころ七五三を祝った子供たちも、今は社会人になって活躍しています。「あんなに小さかった子が」と、時の流れの早さを感じています。(I)

◎「僕は今年の八月二十六日生まれ。生後三ヶ月、はやはやの白根市民です。お母さんは三条市から来たので、二人ともまだ白根市には詳しくありません。これからのいろいろなことを覚えたいと思っています。よろしくネ」(A)

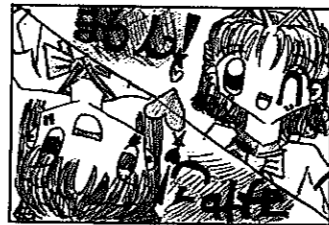


☆イラストは黒一色でつぎりと。ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢を忘れずに。採用分には粗品を進呈。

【あて先】〒950-1292 白根市大字白根1235 白根市企画財政課秘書広報係



PNKOTEKAさん



長沢真緒さん(茜町/8歳)



P.N.田中一郎さん(和泉/16歳)



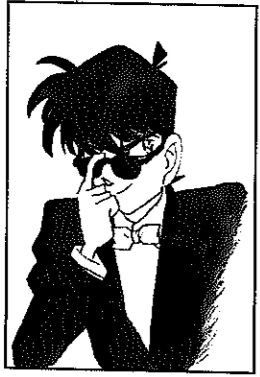
P.N.夜兎桜さん(白井/14歳)



P.N.さくらさん(東町/10歳)



渡辺かすみさん(丸湯/8歳)



阿部貴志さん(鍋湯/12歳)